



研究部会報告

● 食料・農業・環境と OR ●

・第7回

日時：4月1日(水) 13:30~15:00

出席者：10名

場所：農研機構 中央農業総合研究センター研究情報棟2階，データ整理室

テーマと講師：

「デリバティブ市場とプライシング」

谷 保明 (株)QUICK ホールセール事業本部)

概要：本報告では、まずデリバティブ市場におけるプライシングの理論的説明が行われた。次に金融情報サービス会社が配信する金融情報について制度、商品内容の具体例が報告され、金融情報と農業関連市場との関連性が検討された。さらに農業における金融情報の利用、圃場情報を活用した金融情報生成について意見交換が行われた。

● SCM 時代の製造マネジメント ●

・第22回

日時：4月3日(金) 18:00~20:00

出席者：52名

場所：青山学院大学 総研ビル9階16会議室

テーマと講師：

「グリーン SCM 構築への取り組み」

関根史磨 (花王)

概要：花王における環境に配慮したSCMの取り組みについて、サプライチェーンの見える化と独自の需要予測技術をベースとした在庫低減と商品切り替え時の廃棄レス化のほか、長距離トラック輸送の高積載率化(99%)、商品のコンパクト化による輸送効率向上など、様々な取り組みの紹介があった。

● 待ち行列 ●

・第212回

日時：4月18日(土) 14:00~17:00

出席者：26名

場所：東京工業大学 西8号館W棟809号室

テーマと講師：

(1)「確率過程を用いた排出権、燃料、卸電力の価格変動分析」

遠藤 操 (財電力中央研究所)

概要：欧州では二酸化炭素排出権は市場で取引されている。本発表では、排出権取引の背景と、その価格が電力、石油や天然ガス価格と連動して変動することを解説し、時系列モデルを用いて価格変動を推定する試みを紹介した。

(2)「インターネット上でのリアルタイム通信のQoS確保技術(PCN)と待ち行列について」

佐藤大輔 (NTTアドバンステクノロジー(株))

概要：インターネット上でのリアルタイム通信において、確率的なパケットマーキング方式の提案がなされた。しきい値による画一的なマーキングを行う従来方式に比べ柔軟な輻輳制御が可能となることがシミュレーションによって検証された。